

虫倉山の山居さん

江戸時代初期の僧、^{さん きよ}彈誓上人(1551~1613)を開祖とする木食一派は山中での修行を第一とした。庶民救済を目的に日本中を歩き貧しい生活をする人々の信仰を支えた。粗末な服、髪や髭を伸ばした格好で修行をしながら諸国を行き來したという。

善光寺・戸隠と二大靈場がある北信濃にもたくさん回遊行者が集まり、西長野から虫倉山麓(小田切~中条~鬼無里・小川)を経て大町へと向った。雨をしのげる岩穴が多い虫倉山麓はそんな行者たちの中心地となり賑わったといわれる。山居さんもそんな行者の一人でわずかなお札で仏像を作って庶民に与えていたという。虫倉山中では初代彈誓上人のような格好で木食行をしていた。

小川村高山寺三重塔を復興する時は山居さんの力になればと庶民が寄附をして大願を達成した。

そんな山居仏
一体一体を
眺めていると
庶民のそばで
祈りを捧げ
続けた山居
さんの想い
が伝わって
くる



そして又、山居仏
の眼ざしか
見ていろ我々の
心をいやしてくれるのである。

鬼無里ふるさと資料館

作成

山居さん あれこれ

○木食行って何？

山中で修行する間、五穀（米、麦、粟、ひえ、きび）、肉、魚を食べないで生活すること。木の実やそば、豆、芋などは食べられたといわれている。（諸説あり）

○どこで修行していたの？

雨をしのぐ広さがある岩穴で修行をしていた。鬼無里、中条、小川村にまたがる虫倉山は岩穴が多く山々を歩きながら修行したといわれる。むかしばたき木を拾ったり、薪にする木を切ったりしていたので山には今より木が無くて明るかったので歩きやすかった。

○他にも聖はいたの？

全国的に有名な円空（1632～1695）は日本中で12万体もの仏像を彫ったと言われている。行道（1718～1810）も日本中にその名を知られる。他にも庶民の平穏を願った山居さんのような僧がたくさんいました。彼らは独自のネットワークでつながっていて各地でお寺やお堂の復興に力を注ぎ、貧しい生活をしている庶民の信仰の助けとなっていました。

山居 略年表

西暦	年号	年齢	略歴
1655	明暦元	1	長野県松本市山辺に生まれる
1667	寛文7	13	事故で子供を死なせてしまう 松本 念来寺の明阿上人の弟子となる
1676	延宝4	22	小川村 虫倉山に籠もり木食行を始める
1694	元禄7	40	小川村 高山寺観音堂にて寺堂の修復を始める
1698	元禄11	44	高山寺観音堂、三重塔再興
1699	元禄12	45	再度、虫倉山に入り万体仏作成に着手
1703	元禄16	49	万体仏大願を成就 大町市弾誓寺住職となる
1711	正徳元	57	大町市 若一王子神社三重塔建立
1724	享保9	70	入定（死亡）法名「木食山居故信法阿」